

2016年8月23日  
次世代歴史教育研究会キックオフ会合  
(次世代歴史教育研究会・哲学研究会合同研究会)

# 歴史学の 参照基準について

竹中 亨 (大阪大学)

## 日本の現状と課題

学習成果=コンピテンス法の意義

修学パターンの多様化への対応

今日的課題 (リカレント教育、国際化) への大学の対応

人文学への「風圧」への対応

日本の歴史学界のインプット志向の強さ

学術会議による参照基準

今後の課題

大学間での理解の拡大

コンピテンス選定への学界の合意

その第一歩としての当研究会

# 次世代歴史教育研究会の課題（案）

## 1. コンピテンスの選定

- ・ 学界への提言

## 2. 授業実践のモデル案出

- ・ コンピテンス + 学習事項 + 授業手法・教材 + 評価法

## 3. 汎用的コンピテンスの育成法・評価法

# 授業実践への適用の手がかり

- ▣ College Board, AP World History: Course and Exam Description
- ▣ DQP Assignment Library (National Institute for Learning Outcomes Assessment)  
<http://www.assignmentlibrary.org/search>
- ▣ 中井俊樹『アクティブラーニング』玉川大学出版部、2015年
- ▣ 松下佳代/石井英真『アクティブラーニングの評価』東信堂、2016年

ご静聴  
ありがとう  
ございました。